

第1回 御代田町総合教育会議 会議録

招 集 年 月 日	平成27年7月28日(火)		
招 集 場 所	教育委員会 エコールみよた中会議室		
開閉会時の日時	開 会	平成27年7月28日(火)	午前 10時00分
	閉 会	平成27年7月28日(火)	午前 11時05分

出欠席者の職氏名

職 名	氏 名	
御代田町長	茂木 祐司	
教育委員長	上原 貴夫	
教育委員長職務代理	柳澤 政弘	
教 育 委 員	平田 良子	
教 育 委 員	市川 美香	
教 育 長	櫻井 雄一	

職務のため出席した者の職氏名

書 記	氏 名	
	高地 優子	

説明のため出席した者の職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
教 育 次 長	重田 重嘉		
次長補佐兼博物館係長	堤 隆		
次長補佐兼学校教育係長	内堀 岳夫		
生涯学習係長	荻原 武司		
図書館係長	北沢 直美		
社会体育係長	欠 席		
学校給食係長	欠 席		

第1回 御代田町総合教育会議 会議録

重田教育次長 開会挨拶。

茂木町長 町長挨拶。

上原委員長 委員長挨拶。

重田教育次長 続きまして、3. 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正について、内堀次長補佐より説明いたします。

内堀補佐 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正について、**資料1**に沿って説明。

重田教育次長 質問等ございましたらお願いいたします。
無いようでしたら、4. 総合教育会議の運営について、説明いたします。

内堀補佐 総合教育会議の運営について、**資料2**に沿って説明。
なお、今後の本会議の開催について、年3回程度を予定しております。第1回目が今回であり、第2回目は10月から11月の来年度予算の策定前に開催し、第3回目は年度末に意見交換という形で開催できればと考えております。

重田教育次長 不明な点や意見等ございましたらお願いいたします。

茂木町長 この会議の中で具体的に何をするのかということが見えてこないように思いますが、どうでしょうか。

重田教育次長 例えば**資料2**御代田町総合教育会議設置要綱第2条(3)にある「児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ…」という、いわゆるいじめや自死等の事態が起こった場合、町において設置されている御代田町虐待等防止ネットワーク協議会を活用しつつ、本会議において協議をおこなう必要性が生じることもあるかと思われま。

上原教育委員長 設置要綱については、事務的な部分は記載されていますが、設置のねらいや目的といった内容は書かれていませんね。形としては成り立ちますが、これで良いのかと思う部分もあります。

茂木町長 国の法律に基づいて定めるということですので、良いのではないのでしょうか。

重田教育次長 続きまして、5. 教育大綱について、説明いたします。

内堀補佐 教育大綱について、**資料3**に沿って説明。

重田教育次長 質問等ございましたらお願いいたします。

御代田町長 御代田町教育大綱の策定方針について、長期振興計画は町の基本方針であるため、これと別の方針があるということはありません。

- と考えます。長期振興計画を御代田町教育大綱と見なすということが、一番妥当な方針の定め方かと思えます。そうなると、長期振興計画の教育に関する部分については、教育委員の皆様にしっ
かり見ていただき、議論がされなければいけないと考えます。
- 重田教育次長 現在策定を進めている第5次長期振興計画について、職員の中で
5回ほど部会が開かれており、既に6月の定例教育委員会において、その時点での計画案を教育委員の皆様にお示ししております。
今後教育委員の皆様からご意見をうかがっていく予定となっております。
- 茂木町長 教育委員の皆様にもしっかりと関わっていただけるよう進めてい
くようにお願いします。
- 櫻井教育長 教育大綱については、長期振興計画をそっくりそのまま置き換える
という形ではなく、簡素化したものでも良いのではないかと考
えています。
- 重田教育次長 以上のとおり、御代田町教育大綱については今後も検討を進め、
随時ご相談申し上げたいと思えます。
続きまして、6. 意見交換となっておりますが、ご意見がございましたらお願いいたします。
- 櫻井教育長 学校としては、学力と体力の向上に課題があるように思います。
学力については授業づくり、体力については学年が上がるごとに
数値が悪くなることから中学校女子に対して特に力を入れて取
り組んでいます。なかなか成果が見られない状況です。
また、現在力を入れていることとして、地域ぐるみの教育が挙げ
られます。「信州型コミュニティスクール」という県からの働き
かけもあり、今年度は枠組みをしっかりと整えるという状況です。
内容としては、御代田町に愛着と誇りを持てるような子どもを育
成するため、地域の方に関わっていただきながら、御代田町のこ
とを学ぶという取り組みを行っていきたいと考えています。交通
安全パトロールや読み聞かせ、農業体験など、現在も様々なとこ
ろで地域の方に関わっていただいておりますが、それらを組織化す
ることにより、さらに活用を進められればと思えます。
- 茂木町長 私が学校と向き合っていて感じることは、褒めることの大切さで
す。先日の龍神まつり翌日のごみ拾いボランティアには、中学生
150名ほどが参加してくれました。年々ボランティアの輪が広
がっており、とても良いことだと思えます。私は子ども達の良い
ところを評価するという意識を意図的に起こっています。なぜ

なら、自分自身を振り返って「なぜ学校が嫌いだったか」と考えると、学校では怒られることばかりで、褒められることがない、だから勉強が嫌いだったのだと思います。子どもの良いところを評価して大いに伸ばすことが重要ではないかと考えます。

また、私は小学1年生を対象にセカンドブックの贈呈をおこなっており、その際に一つひとつのクラスで1時間の授業をします。すると、クラスによって大きな違いがあると感じます。その理由を考えると、クラスの中に問題を抱えている子どもがいるかいないかということもあると思いますが、その他に、教師のレベルに差があるのだと感じます。例えばあるクラスでは、セカンドブックとして自分が頼んだ本を聞けばその本の名前を答えられるのに対して、同じ1年生であっても、違うクラスでは「忘れた」、「知らない」などの答えが返ってきてしまうようなことがありました。また、私はセカンドブックの目的として「学ぶことは生きる力」ということを掲げていますが、「学ぶことは生きる力」という言葉を黒板に書いたとき、その漢字を何人もの子どもが読めるクラスと、まったく読めないクラスがありました。その違いは何かと考えると、教師の差ではないかと思えます。教師も人間なので長短はあると思えますし、私自身南小学校で3クラス授業をしてクタクタに疲れたので、大変な仕事であると感じました。きっと悩みながら日々子ども達と向き合っていると思いますが、そうした悩みを教師間で相談してアドバイスし合うことによって解決できたりと、組織的な対応によって教師のレベルを上げていくようなことも必要なのではないかと考えます。

櫻井教育長

教師のレベルということについて、学校でも教員資質の向上を目指して校内研修あるいは外部講師を招いての研修などをおこなっています。授業についても、お互いに授業を見合っただけでアドバイスし合うといった取り組みをおこなってはいます。ただ、その先生によって、自分を出せなかったり、自分のやり方を変えられなかったりする部分があるのではないかということは感じます。先ほど町長がクラスによって差があるということをおっしゃっていましたが、違いがあることによる良さというものもまた無ければいけないものだと考えます。ただし、それもやはりある程度一定のレベルに達したところでこそ発揮されるものかと思えますので、やはり全体のレベルを上げていかなければいけないと感じています。

茂木町長

保育園を例にすると、4月の入園式では落ち着かない様子だった子どもが、9月の運動会では列を作って並べるようになり、集団としての動きが出来るようになっていく光景を見ることがあります。このことは、教育の力と集団の力によるものではないかと考えます。教育の力だけでは子どもの成長には限度がありますが、そこに集団の力が加わると大きな成長が期待できる、そのことこそが人間らしさだと思います。そうであれば、教師の中でも集団の力が発揮されるべきではないかと考えます。現在教師は多忙で自分の業務に追われており、研修はあるものの上から下へのトップダウンのようになっていくのではないかと考えられます。そんな時だからこそ、教師の集団の力が発揮されることが、資質向上へ向けて近道となるのではないのでしょうか。

櫻井教育長

小学校ではほぼ1日中、一人の学級担任が多数の教科を受けもち子ども達を見ていますが、中学校では教科ごとの指導になります。中学校の方がより教員の組織力を生かしやすいのではないかと考えます。

上原委員長

先生方にはぜひ力を付けてほしいですし、また、この総合教育会議の中で我々も協力し合いながら、御代田町として優秀な先生を獲得できるよう取り組んでいきたいと考えます。県教育委員会でもこの春から人事の方針を一部変更するようですし、その辺りも活用しながら良い人材の獲得に努めていきたいと思っております。

また、先ほど町長からお話しがあった中学生の龍神まつり後の清掃ボランティアにも関連しますが、「御代田学」のようなものを作るかどうかということがこのところの定例教育委会議で議題となっています。幼稚園あるいは保育園・小学校・中学校といった各段階から身に付けてほしい御代田町についての知識や人間としての力を体系的にまとめてみてはどうかという発案です。中学生の清掃ボランティアを見ていると、正直なところ中学生に拾わせて良いのだろうかと思ってしまうようなたばこやお酒のゴミが多数あるというのが現状でした。このことから、学校教育だけでなく町民全体の力を底上げする必要があるのではないかと感じます。名称はともかく、「町のみんなが力を付けていく」という方向付けをするものとして「御代田学」のようなものを作り、学びの場としてだけでなく活動の場としてやっていけないだろうかと考えています。学校だけでなく役場職員や町民全体まで参加するようなものができれば望ましいのではないかと考えます。

柳澤職務代理 先生達のレベルという話でしたが、やはり個人差があるのは仕方ないことかと思えます。ただその個人差をどのように周りがフォローしていくかが重要ではないでしょうか。町民が先生を育てるといような姿勢も大切ではないかと感じました。

平田委員 先生についても子ども達についても、それぞれが自分の持っている力を発揮できるような環境が作れば良いと考えます。先ほど町長のお話しにあったセカンドブックの贈呈ですが、もらう本は子ども達が自分で選ぶのでしょうか。

茂木町長 はい。子ども達が選んだ本を渡しています。ぜひ一度見に来て下さい。

平田委員 ありがとうございます。そこでお話しにあった「学ぶことは生きる力」という漢字が読めないクラスがあったという件ですが、おそらく読める子はいたと思います。ただ、自分が読めるということを表示できるかできないか、その場で自分の力を発揮できるかできないかの差ではないでしょうか。もしそこでパッと読める子がいればクラスの他の子も「あ、そうやって読むんだ」と知ることができ、そのことがさらには集団の力という部分にもつながってくるのではないかと思います。また、先生達にも得意・不得意があり、同じように町の人達にもあると思います。「私にはこれができる」ということを子ども達に伝えられる場があると良いなと感じますし、色々な人が色々な力を発揮できるようになれば、町の教育力もよりいっそう高まるのではないかと考えます。

茂木町長 教師の能力に対して何か言う前に役場職員はどうなんだと言われると、言い返せないような気がします。やはり全体として力を付けていく必要があるということですね。

市川委員 先ほど町長からクラスによって大きな差があるというお話がありました。私自身南小学校で読み聞かせのボランティアをしていて同じように感じることもあります。先生が「ちゃんと聞きなさい」と言って指導しているクラスではシーンとした雰囲気になりますし、先生と一緒に話を楽しんでいるようなクラスでは子ども達も生き生きと話の世界に入っていきような光景が見られます。

また、先月の定例教育委員会でも触れた部分なのですが、南小学校では読書アドバイザーをPTA会計の中から雇用しています。町予算で雇用してもらえないかと話したところ、支援員の先生を多く配置しているという事情や、学校事務が司書を兼ねている

ということをお聞きしました。しかしやはり読書アドバイザーを P T A の資源回収等で得たお金から雇用しているということを P T A として疑問に感じる部分があるので、今後とも検討していただければと思います。

茂木町長 学校に関しては、現場を見に行くことが大事だと感じます。普段見かけないような人が来ていると、子ども達にも良い緊張感が生まれるように思います。

櫻井教育長 町長が中学校へ出向いておこなっている授業について少しお話しを聞かせていただけますか。

茂木町長 中学校で3年生を対象に授業をするようになって8年目です。内容としては、事前に「御代田町ってどういう町？」ということを知ったり質問事項や町にやってほしいことを書いてもらったりして、それを基に授業を行います。近年感じるのは、子ども達の反応が変化してきているということです。授業のテーマは「御代田町ってすごい町」で、「御代田町に誇りを持とう」ということなのですが、テーマに沿って人口が増えていることや高齢化率が低いこと、出生率が高いこと等を紹介してみると、子ども達から「御代田町のために私もなにかしたい」という感想が寄せられます。こういった積極的な感想は近年増加傾向にあり、とても良いことだなと感じます。8年もやっていると成人式に来た子が中学生の頃に私の授業を受けていることになり、赤ちゃんに対して本をプレゼントするという「ブックスタート」という事業に関しても、前の子どものときにももらっていてこれで何人目だというような話しをされることが多くなりました。こうした積み重ねというか、継続が町にとっての力になっていくかなと思っています。

北沢係長 セカンドブック贈呈について、先日私も初めて町長に同行させていただいたのですが、先生方は大変だなと感じました。漢字が読める子や図書に親しんでいる1年生が予想以上に多く、保護者の教育に対する関心の高さを実感しました。また、クラスでは町長が子ども達一人ひとりの名前を呼んで本を渡してくださるので、子ども達にとって記念になりますし図書に対する関心も高くなるように思いますので、とても良い機会だなと感じました。

茂木町長 また機会があれば教育委員の皆さんも見に来てください。私に対しても、「こんな行事があるから来てよ」等とお誘いいただければありがたいです。

重田教育次長 他に何かご意見等ありますでしょうか。無いようでしたら、次回について決めたいと思います。

櫻井教育長 次回ですが、何か議題とする柱のようなものがあつたほうが、より議論が深まるのではないかと思います。今回は初会合ということで運営や大綱について主な議題としましたが、2回目以降は話し合いの柱のようなものを設けて進めていきたいと考えます。

重田教育次長 予定として、次回は10月頃の開催を考えております。
以上で第1回御代田町総合教育会議を終了します。

(終了 午前11時05分)